

父母と教師の会会報



葵

第78号

発行：平成30年6月1日
 福島県立葵高等学校
 父母と教師の会
 会津若松市西栄町4-61
 TEL (0242) 27-5461
 発行者 渡部 美枝子
 編集者 磯 貝 太

誇りを胸に



会長
渡部美枝子

本年度本会長という大役を仰せつかり、改めてその責任の重さを感じております。至らない点も多いと思いますが、一年間よろしくお願いいたします。

さて、今年度は百十周年の節目の年であります。学校を知るよい機会かなと思いますので記念誌により会津の伝統校である本校の誕生について少し触れてみます。

明治二十六年海老名リン女史が品格を高める女子教育を目指して私立若松女学校を開校。資金、生徒募集、場所、教師などその準備は容易でなかったようです。

同じ三十八年実業教育振興を図ろうとしていた政策的背景から私立会津技芸学校が誕生。反対意見も相当強く、批判を受けながらも認可されましたが、自分の主旨とは違った学校に、リンさんは「変じてしまいたい」と嘆いたようです。

同四十二年には福島県立会津高等女学校が誕生。これにより、会津技芸学校は閉校。

出合いに感謝



校長
鈴木 睦治

冒頭から私事ですが、私と葵高校(旧会津女子高校)との出合いについて述べます。

十六年ぶりにこの学校に戻ってきました。振り返れば、平成十四年三月に会津女子高校最後の卒業生とともにこの学校を巣立ちました。それまで会女には年間勤め、三度の担任とバスケット部に関わり、数多くの生徒や先生方と出合ってきました。その後、

教育センターや幾つもの他地区高校勤務を経て今日に至りますが、同様に多くの生徒や先生方と出合ってきました。そして、今またこうして葵高校と出合えて、多くの人たちと出合えることに大きな縁と喜びを感じています。

さて、今年度は平成三十年、戊辰・明治改元百五十年目の年であり、併せて本校創立百十周年という大きな節目の年でもあります。さらに遡れば、日本で最初の日本地図を

実測作成したActive learner伊能忠敬没後二百年でもあります。海外では「I have a dream」で有名なアメリカ公

民権運動の指導者マーチン・ルーサー・キング・ジュニア没後五十年でもあり、今年度実に多くの節目が重なっています。この巡り合わせの年が葵高校というのも大きな出合いであり、改めて深い感謝を感じています。

今年度この節目を機に、葵高校は「主体的な学び」という新たな教育改革を図りま

す。「私の選択には、意志がある。」をスローガンとして、生徒と教職員ともに新たな葵高校を創り上げていく改革元年としていきます。まず始業式で、生徒には「AOI(葵)」の頭字「A(あ)」に因み

「Active」と「あ(さつ)」に努めるよう話をしました。生徒の皆さん一人ひとりが学習や部活動等へActiveに取り組

み、あいさつやコミュニケーションをとる姿に大いに期待しています。

